

## 受賞者の皆さんへ

令和2年度、岡山県高等学校体育連盟からの表彰を受賞されました皆さん、誠におめでとうございます。本連盟を代表して、心から祝福し、お喜び申し上げます。

さて、競技によって少し状況は異なりますが、今年度は大会の中止、強化練習等の中止の他、日常の練習さえも多くの制限や制約がかけられました。最終学年であったこの1年間で、成果発表の機会が十分に与えられなかったことで、様々な想いが交錯し、揺らぐ自分を支えていくことに、大変な心労があったものと思います。そうした中、本連盟では、可能な限りの表彰は行いたいという判断の元、この度の受賞を決めたところです。現下の社会情勢を鑑み、表彰式を中止せざるを得ませんでした。受賞者の皆さんの栄誉を讃える気持ちは同じであり、このような形で恐縮ではありますが、重ねてお祝い申し上げます。

限られた全国大会の中で、最高位の成績を挙げられました「全国大会優勝選手・指導者」の皆さんは、いかなる状況でも、今やるべきことを見逃さず、できることに最善を尽くした結果であり、厳しい条件をクリアされた証です。また、人間がつまづく時は、大抵自分の弱点で決まるものですが、詰めを怠らず、隙を見せなかった結果であろうと考えます。混迷する世の中、淀んだ空気が蔓延する中、一筋の光を射し込んでいただいた栄冠に対し、心から敬意と感謝を申し上げます。

「競技専門部優秀選手」の皆さんは、昨年度までの実績や、代替大会実施競技においては、その成果が加味されていますが、技術のみならず、心技体を総合的に評価されたものであります。言うまでもなく、部活動は心を育てる、人間性を育む機会です。自らの意思で選択し、目標を掲げ、その実現に向けて課題を分析した上で実践を重ねる、そして振り返る、を繰り返すものです。その過程においても、様々な要素が加わるわけですが、成功するも失敗するも、力を発揮するもしないのも、結果的には心の問題であり、人間性であると考えています。日本オリンピック委員会の強化目標にも、「人間性なくして競技力向上なし」と掲げられています。こうした意味で、各競技で推薦された皆さんは、心技体が充実したトップ選手であると確信し、賞賛するものであります。

優れた競技実績、各競技を代表する選手に推薦され、受賞されましたことを、成功体験として財産にしていきたいものです。昨年逝去された、プロ野球の元監督であられた野村克也氏の著書には、中国の蘇老泉による「管仲論」の言葉が紹介されています。

「功の成るは、成るの日に非ず、蓋し必ず由って起こるところあり」、つまり、「成功には、必ず先立ってその原因がある」という意味です。この度の受賞に至った経緯や要因を各自で振り返り、分析してください。そして、受賞を機に、引き続き、自分の守備範囲を広げるステップにしてください。さらに、自らを大きくする心を捨てず、努めて視野を広げ、心境を開拓し、「知」を広く、「識」を豊かにし、自己の知的拡大の努力を重ねられることを願います。本県で育まれた高校生アスリートが、人間力豊かな人材として、次代の多方面で活躍する姿を拝見することが私たちの大きな励みになりますので、皆さんの将来へと背中を押し、陰ながら応援してまいります。

受賞者の皆さん、誠におめでとうございます。

令和3年2月3日

岡山県高等学校体育連盟  
会長 神田 亮 一